社会福祉法人かも福祉会　令和７年度事業計画

人々の社会活動、経済活動は平常を取り戻しつつも、「新型コロナウイルス感染症」、「インフルエンザ」、さらには「マイコプラズマ肺炎」等感染症が季節を問わず流行し、重症化、クラスターの発生は少ないものの、依然として事業運営に影響を与えている。引き続き利用者、職員の安全確保のため、感染症リスクに対して適切な感染対策を実施し、クラスター等の発生防止により、事業の安定稼働に努め、もって収益アップにつなげていく。

通所介護、訪問介護等在宅系の利用者が大幅に減少し、さらに要支援から介護度１，２の利用者が多数により収益率の減少が顕著である。また、物価高騰の影響が長期化し、費用負担は増加の一途をたどる。主たる収入は公定価格によることから経費負担を転嫁できず、経営努力のみで対応し続けることは困難を極めるが、活路を見いだすべく、経営改善プロジェクトチームを立ち上げ、現状の課題解決に向けた方策等の協議をすすめているところである。

“できることからひとつひとつ”を合言葉として、まずは利用者獲得に尽力し、現に保有する資産を有効活用し、良質かつ低価格の物品を選定するなど、引き続き経費節減に努めるとともに、行政機関等が交付する補助金等を積極的に活用していく。

厳しい状況の中ではあるが、引き続き地域の一員として地域貢献にも積極的に取り組み、皆様に信頼される「かも福祉会」となるよう努めていく。

１．基本方針

かも福祉会は、“心のこもったサービスで地域に貢献する“ことを基本理念とし、ご利用者に満足していただける質の高いサービスを提供する。

また、行政や他機関との連携を図り、リスクマネジメントとコンプライアンスを実行しながら、安心・安全な福祉サービスを提供する。

２．基本目標

○ ご利用者やご家族のニーズに応えるべく質の高いサービスを提供する。
○ 次代を担う人材の育成、確保に努める。
○ 全職員が経営意識を持ち、稼働率アップと加算の取得、経費節減に努める。
○ 中期経営計画を策定し、経営の安定化を図る。
○ 仕事は前向きに積極的にそして職場は和やかに。働きやすい職場環境の整備に努める。

法　人　本　部

１．各種会議の開催
- ・理事会
- ・評議員会
- ・監事監査
- ・内部監査
- ・運営会議（管理者）
- ・部長会議

２．法人役職員研修の実施
- ・法人役職員研修
  - 法人役員セミナー、監事研修等
- ・職員研修
  - 全体研修（交通安全、救急法、感染症、人権等）

３．遊和会（互助会）事業
- ・納涼祭
- ・新年会
- ・スポーツ大会等

４．ふれあい祭りの開催

５．広報事業
- ・ホームページの更新

☆　特別養護老人ホーム　笑寿苑（入所定員５０名）
☆　地域密着型　特別養護老人ホーム　笑寿苑（入所定員２０名）
☆　短期入所生活介護　笑寿苑（入所定員１０名）

★　キャッチフレーズ

笑顔　あふれる　笑寿苑　　～ すべてはご利用者のために ～

★　基本方針

①　明るく家庭的な雰囲気の中で心地よい温もりのある生活環境を提供する。
②　地域や家庭との結びつきを重視した運営を行い、利用者一人ひとりの生きがいや楽しみを追求し、その人らしく心豊かに暮らせるよう、寄り添うケアを実現する。
③　日常生活からの「気づき」を大切にケアの向上に努める。「利用者本位」「自立支援」を目指し、満足していただけるサービスを提供する。

★　事業計画

１．事業の安定経営

①　長期は４８．０名以上、ユニットは１９．０名以上、短期は９．０名以上を目標に掲げ、介護収入の確保に努める。
②　居宅介護支援事業所や地域医療連携室等の関係機関との連携を強化し、利用申込者の状態把握を定期的に行うことで新規利用者の獲得に繋げる。また、空床発生日から 10 日間を目安に新規入所者の受け入れを行う。
③　事業の継続・発展のために、収益確保、経費節減意識を全職員が持ち、日々実行する。
④　慢性的な介護人材不足を補う為、国・県は ICT・介護ロボットの導入を推進しており、当苑でも活用を検討する。

２．ご利用者の安全対策・環境整備

①　関係機関との連携を強化し、地震・火事・水害等を想定した防災訓練や消防設備器具などの自主点検を定期的に行う。
②　施設の老朽化に対応し、設備の維持管理及び必要な修理・修繕を行い安全対策に努める。
③　ご利用者の状態に合わせた環境整備を行い介護事故の未然防止に努め発生時の迅速対応・検証等リスクマネジメントの充実を図る。
④　ノーリフトケア（持ち上げない・抱えない・引きずらないケア）を推進し、利用者及び職員の負担軽減を推進する。

３．ご利用者へ質の高いサービスの提供

①　ご利用者が施設の生活の中で、自分らしく最期まで安心して過ごすことができるよう支援する。
②　日常からご利用者やご家族と関わりを持ち、関係性を構築することによって、各々の思いを聴き取りニーズを把握する。

③　感染症対策委員会や衛生委員会を中心に感染症(新型コロナウイルス、インフルエンザ、ノロウイルス等)及び食中毒の発生防止、まん延を防ぐ。

④　外部研修への積極的な参加、施設内研修の充実により、ケアの質の向上を図る。

⑤　地域密着型（ユニット）においては、２ヶ月に１回運営推進会議を開催し、地域住民や保険者、ご家族等に提供しているサービス内容等を明らかにし、サービスの質の向上に繋げる。

⑥　誤嚥性肺炎等のリスクを軽減する為、口腔内の清潔を保つ。口腔衛生等管理技術向上の為の研修を年２回実施する。

４．地域との連携

①　小中学生・高校生との交流を促進し、実習生やボランティアを積極的に受け入れ、地域社会とのつながりを深める。

②　介護職員初任者研修や中学校への出前による講演や実技指導を行う。

５．情報提供　相談苦情への対応

①　年１回、アンケート調査（顧客満足調査）を行い改善に役立てるとともに要望や苦情に対しては迅速かつ丁寧な対応を行う。

②　苦情相談窓口の設置及び苦情解決相談員(第３者委員)を配置し、年１回苦情検討委員会を開催し助言を頂く。

③　ホームページ内ブログの随時更新や広報「にこにこ便り」の定期発行により、タイムリーに施設の魅力や情報を発信する。

６．介護（看護）人材の安定的確保

①　職員が長く働き続ける職場である為に、働きやすい職場環境の構築。

②　介護の魅力や情報発信できるイベントへ積極的に参加し、人材確保に努める。

★　年間行事予定

４月	花見会	７月	夏祭り	１０月	運動会	１月	新年会
５月	節句会	８月	七夕会	１１月	ドライブ	２月	節分祭
６月	笹巻き	９月	敬老会	１２月	忘年会・ｸﾘｽﾏｽ会	３月	ひな祭

○　季節感のある行事を行う

餅つき　　笹巻き　　そうめん流し　　おやつバイキング

花見ドライブ　　紅葉ドライブ

[お楽しみ活動]　　カラオケ　　野菜作り　　園芸

[各種訪問]　　歌　踊り　など

養護老人ホーム　宇寿荘（入所定員 80 名）

★　キャッチフレーズ

一人一人の思いを大切にし　自分らしく暮らせる宇寿荘

★　基本方針

①　ご利用者の立場に立った思いやりのあるケアを実践し、ご利用者、ご家族、地域の方々に信頼される施設作りを目指す。

②　ご利用者の個々の能力に応じ、目的や役割を持って生きがいを感じて生活していただけるよう支援する。

★　事業計画

１．経営基盤の安定

①　一般型特定施設の運営を継続し、又、加算取得にも取り組むことで経営の安定化を図る。

②　パンフレットを配布し関係機関へ宇寿荘の周知を図り入所者数平均 76 人を目指す。

③　ご利用者の健康管理に努め、医療機関との連携を図り、入院数の減少を目指す。

２．ご利用者・ご家族・地域の方に信頼される施設作り

①　ご利用者の立場に立った個別支援、生きがい活動やリハビリテーションを通じてご利用者の心身機能低下予防や認知症予防に努める。

②　ことぶき通信（広報誌）の年 4 回発行やホームページへ掲載することでご家族や関係機関へ情報発信するとともに、ご家族との連携を密に図り、ご利用者の精神的な安定を図り信頼関係を構築する。

③　中高生の職場体験やボランティア、地域の方のボランティアを受け入れ地域との交流を深める。

３．ご利用者の安全対策・住みよい環境作り

①　防災マニュアルや感染症予防マニュアルを継続的に見直し、訓練を実施し、災害対策及び感染症予防を強化する。

②　定期的に設備点検を実施し、必要な箇所は修繕を行うことで環境整備に努め、事故防止につなげる。

４．人材育成の強化・生産性向上の取り組み

①　施設内外の研修の充実を図り、多様なニーズに対応できるよう専門性を高める。

②　業務改善の取り組みを行うことにより、チームケアの質の向上に繋げていく。

★　行事予定

４月　花見ドライブ	１０月　運動会、ドライブ
５月　節句	１１月　衣類販売、避難訓練
６月　衣類販売	１２月　忘年会、クリスマス会
７月　納涼祭、避難訓練	１月　新年祝賀会

８月　七夕会　　２月　節分祭
９月　敬老会　秋の彼岸法要　　３月　ひな祭り　春の彼岸法要
＊誕生会は毎月実施。　カラオケ、ゲーム大会、書道教室、３B 体操　月１回
利用者健康診断は年２回実施。

ヘルパーステーションかも

★　キャッチフレーズ

まごころと笑顔のヘルパーステーションかも

★　基本方針

重度化する要介護者が可能な限り居宅にて、能力に応じた日常生活を営む事が出来る様に訪問介護事業を中心として、障がい者の自立支援や高齢者世帯の生活支援を行うため、訪問介護員の質の向上を図りながら「まごころと笑顔」でサービスを提供する。

★　事業計画

１．居宅介護支援事業所等との連携

居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、相談支援事業所との連携に努め、安定したサービス提供に努める。

２．資質の向上

①　ご利用者の状態にあったケアやご家族に対する指導・助言が行えるよう訪問介護員の資質向上を図る為、施設内外の研修会等に出席し、スキルアップを図っていく。

②　サービス提供後のモニタリングやケース検討会を行い、サービスが適切であったかどうかの確認・評価を行う。

３．リスクマネジメント・利用者の安全な生活確保

①　リスクマネジメントを図る観点から報告、連絡、相談等の徹底を図る。

②　ご利用者及びご家族のニーズに合わせた指導やリスクマネジメントで事故の防止を図る。

③　新型コロナウィルス・インフルエンザの感染予防に努める。

④　毎月ヘルパーミーティングを開催し、情報の共有化を図る。

４．情報の発信

アンケート調査実施、広報誌を年１回発行して情報発信に努める。

５．地域との連携

認知症高齢者が住み慣れた地域で生活出来る様、地域との連携や支援を積極的に図る。

６．事業運営の安定化

要介護者の入院・入所等による利用回数の減少が見込まれることから居宅介護支援事業所等との連携を図って収益の確保に努め、事業運営の安定化を図る。

７．事業別１ヶ月訪問計画

介護給付	総合事業	自立支援	合計
300 回	72 回	100 回	472 回

加茂デイサービスセンター（利用定員３０名）

★ キャッチフレーズ

一生青春、みんなで笑って過ごそう。

★ 基本方針

住み慣れた地域での在宅生活が継続できることを目指し、

① 個々の状態を把握し、専門的なサービスを提供することで、心身機能の維持向上を図る。

② 生きがいや楽しみを見出し、孤立感を解消し、地域交流を図りながら生き生きとした生活が送れるよう支援する。

③ 職員間やご家族等との連携を図り安心、安全な生活が送れるよう支援する。

★ 事業計画

１．生きがいや楽しみのある支援

① 役割や生きがいが引き出せる活動プログラムや主体的に取り組めるプログラムを提供する。趣味や経験が活かせる内容のクラブ活動を推進する。

② アンケートを実施し、ニーズの把握に努める。

２．ご利用者の確保と安定的な運営

① １日の平均利用人数の維持を目標に安定した収入を確保し、加算算定により収入の確保に努める。

② 包括支援センターや居宅介護支援事業所との連絡を密におこない利用者の確保に努める。

３．資質向上及び人材育成

① 中重度の方や認知症の方、機能訓練や口腔機能向上を目指す方へ専門的なサービスが提供できるよう、研修会に参加し、職員の資質向上を図る。

② 入浴・排泄・接遇、虐待防止委員会を活用し勉強会や施設内研修をおこない、ケアの質の向上を図る。

③ ハラスメントの予防や対策をとり、また、職員の自己評価や個人面談を実施することで、働きやすい職場を目指す。

４．ご家族との連携及び支援

① 家族会を年１回と、アンケートを実施し介護者の思いを共有し家族支援に努める。

② 広報誌を年４回と専門職の知識を生かした情報誌を発行し、情報発信に努める。

５．ご利用者の尊厳を守り安心、安全な生活の確保

① 医療機関、他事業所との連携を図り、個々の状態を把握し支援する。

② リスクマネジメント委員会を開催し、環境整備や備品の点検を行うことで介護事故の予防に努める。

③ 新型コロナ感染症、インフルエンザなどの感染症や災害に対し対応できるよう、業務継続計画を策定し必要な研修や訓練を実施する。

６．地域貢献・地域交流

感染症の感染状況を確認しながら、小学生の訪問、中高生の職場体験や実習の受け入れ、地域で活動しているボランティアの受け入れをおこなうことで地域との交流を深める。

★　行事予定

４月	花見ドライブ	１０月	運動会
５月	つつじドライブ	１１月	紅葉ドライブ　外食会
６月	運動会	１２月	忘年会（鍋）クリスマス会
７月	夏祭り　ショッピング	１月	初詣ドライブ
８月	七夕祭り	２月	節分　ショッピング
９月	敬老会　避難訓練	３月	ひな祭り　避難訓練

★　サービス利用計画（１ヶ月）開所日数　３０８日

介護給付	総合事業	合　計
５２０回	９２回	６１２回

かも福祉会居宅介護支援事業所

★　キャッチフレーズ

地域と共に、住み慣れたご自宅で、思いに添った暮らしをサポートします

★　基本方針

利用者が住み慣れた地域で自立した日常生活を営むことができるよう、各関係機関との連携を図り、利用者本位・公正中立な立場で、自立支援に向けた質の高いサービスの提供に努める。

★　事業計画

１．法令を遵守したケアマネジメントの遂行

常に法令を遵守し、公平な立場で業務を遂行していく。

２．利用者の確保

地域包括支援センター・雲南市立病院等との連携を図り、利用者の確保を図る。

３．適切なケアプランの作成

ご利用者及びご家族の望む生活を実現するため、多職種が協働し在宅での生活を継続できるよう適切なケアプランの作成に努める。

４．資質の向上

各種の研修会に参加し、資質の向上を図る。また、加算取得要件を満たすため、個別具体的な研修の目標・内容・時期等について定め実施する。

５．地域貢献

地域ケア会議･加茂地区つながり会議等へ積極的に参加することに加え、地域の機関･民生児童委員や住民の方々と一緒になって、まちづくり・地域包括ケアシステムの構築に努める。

６．情報の共有化

定期的にミーティングを開催し、個別ケースの検討、情報の共有化を図る。

７．医療等との連携

病院・かかりつけ医・施設等と連携し、ご利用者の入退院（入退所）時の情報共有を図ることにより、退院（退所）後もスムーズなサービス提供ができるよう努める。
また、必要な加算の算定に繋げていく（入院時情報連携加算、退院・退所加算)。

８．アンケート調査の実施と広報誌の発行

①　アンケートによる意向調査を実施し、業務の改善につなげる。

②　広報誌を年１回発行し、介護保険等の情報を発信する。

９．リスクマネジメントの徹底

①　定期的なアセスメントに加え、関係機関への情報提供、連絡・調整を行うことでリスクを予測し、未然に防ぐ。事故が起こった場合には、迅速に対応する。

②　職員のマスク、手洗い、消毒等を徹底し感染症予防に努める。

１０．苦情への対応

ご利用者・ご家族からの苦情等を真摯に受け止め適切に対応していく。

１１．１ヶ月のケアプラン作成等計画

介護給付	予防給付	合　　計	訪問調査
９９件	３０件	１２９件	5件

かも社会就労センター（利用定員３０名）

★　キャッチフレーズ

希望と安心と充実感のある就労の場を提供します

★　基本方針

利用契約に基づき、利用者の人権・人格・意思等を尊重した就労の場を提供し、生産活動等を通じて対人関係・能力向上のために必要な訓練を効果的に行うことで、就労の喜びを感じ社会の一員としての自覚を持って生活が送れるよう支援をする。また、職場の安全に留意し、健康保持に努め、個々の障がいに適した対応を行う。

★　事業計画

１．ご利用者の安定確保

定員数を確保できるように、圏域の相談支援事業所及び行政や関係機関との連携を深め利用契約者数 30 名以上を目標とする。

２．工賃の増加

安定した作業を提供し、ご利用者の工賃に反映する。

３．一般就労への移行支援

雲南障がい者就業・生活支援センターアーチと連携し、職場実習を実施、一般就労に移行できるよう支援していく。

４．利用者の安全確保と健康保持

①　雲南消防署と連携し防火訓練（年 2 回)、土砂災害避難訓練（年 1 回）を行う。

②　新型コロナウイルス、インフルエンザ等の感染症予防対策に努め、地域の感染状況を見ながら適宜注意喚起を促す。

③　年 1 回利用者の健康診断を実施し、毎日定刻にラジオ体操を全員で行い健康保持に努める。

５．職員の質の向上

質の向上のため各種研修会に積極的に参加しスキルアップ向上を目指す。

６．地域交流

①　県立養護学校、ホームケア島根、トリニティ出雲医療福祉専門学校、山陰中央専門大学校等の実習生を受け入れ、事業所や障がい者の理解を深めてもらう。利用者自身にも実習生との交流を通して就労意欲に繋げてもらう。

②　ご利用者の楽しみである行事は地域で活動するボランティアの受入れや近隣へ外出等、地域でできることを工夫したり地域の感染状況を見極め都度慎重に実施する。

７．作業内容

生産活動を通して、工賃の支払いを行い、就労意欲の向上や生活の充実を図る。

①　施設外就労　→　（掃除・洗濯）

特別養護老人ホーム（笑寿苑）

② 企業受託

（株）協栄ファスナー工業（車部品組立）・(株）ソノ（タオル等製品）・（株）山光（車部品組立)・ナカバヤシ（株）（文具組立)・(有）小早川製粉（薬味詰め)・寺西工業（マジック箱詰め)・シンメイ（食品容器包装)・サンセイ電機（アルミ箔テープ貼り)・明石屋（株）（ビニール包装資材加工）

③ 信書便事業

雲南市役所～雲南市内各総合センター・図書館への文書等の配達

加茂町自治会行政連絡員への文書配布

9．行事予定

月	行事等	月	行事等
4 月	桜花見	10 月	秋の研修旅行・実習生受入
5 月	健康教室	11 月	避難訓練・職場実習
6 月	避難訓練・笹巻き	12 月	忘年会
7 月	茶話会	1 月	新年会
8 月	かき氷会	2 月	健康診断
9 月	交通安全教室	3 月	家族会・土砂災害訓練

かも社会就労センター　障害者相談支援事業所

★　基本方針

社会資源を有効に活用しながら、社会の一員として生活が送れるよう相談支援を行う。

★　事業計画

１．サービス等利用計画の作成

雲南市や基幹相談支援センター、他各機関等と連携を図りながら、個々のご利用者に寄り添いできるだけ希望に沿った計画や支援を提供する。

２．委託事業

障害者等又はその保護者からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言等を行う。

２．職員の質の向上

各種研修会に参加し相談支援技術の向上に努める。

かも社会就労センター「つつじホール」管理運営事業

★　基本方針

社会福祉法人としての使命から地域に貢献するため、適切な管理のもと多目的ホール等を安価で貸し出す。

★　事業計画

「つつじホール」２階をＪＡ・天使堂・あんしん葬祭に貸し出し、葬儀に活用していただく。